

佐賀大学
海洋エネルギー研究センター報告
2013年度



目次

巻頭言	1
活動経緯	2
沖縄県久米島 海洋温度差発電実証プラント「通電式」報告	3
セミナー・シンポジウム等報告	4
第 12 回海洋エネルギーに関する合同研究セミナー	4
海洋エネルギーシンポジウム 2013	7
平成 25 年度 共同利用・共同研究成果発表会	9
平成 25 年度 佐賀大学海洋エネルギー研究センター成果発表会	11
海洋エネルギーに関する国際セミナー2014	13
施設見学会	15
2013 年度オープンラボ（施設一般見学会）	15
2013 年度見学会実績	17
組織	18
業績集	20
学術論文	21
国際会議(Proceedings)	30
国内学会発表	35
資料・解説・論説・研究報告等	43
新聞	45
テレビ	47

巻頭言

海洋エネルギー研究センター長
永田修一

化石燃料の枯渇や地球の温暖化が危惧されている今日、海洋に存在する波浪、潮流、海流の持つエネルギーや、表層と深層の温度差エネルギー等の海洋エネルギーは、無尽蔵な再生可能エネルギーの有力な一つとして認識され、発電を中心とした利用技術の開発は、現在、世界的なブームとなっています。我が国においても、現在、NEDO 海洋エネルギー技術研究開発として、波力発電、潮流発電、海洋温度差発電に関する大型研究プロジェクトが進行中で、これら発電装置の実際の海域での性能を評価するための実海域実証フィールドの選定作業も、我が国の内閣に設置された総合海洋政策本部で進められているところです。

このような背景の下、佐賀大学海洋エネルギー研究センターは、現在、文部科学省から、海洋エネルギーに関する我が国の共同利用・共同研究拠点として認定を受け、活動を行っています。センターの目的は、海洋エネルギーに関する国際的な先導的中核研究拠点として、海洋エネルギーに関する研究教育を総合的かつ学術的に行い、その研究基盤を確立するとともにその利用促進に貢献することにより、21 世紀の地球規模でのエネルギー問題と環境問題の解決に寄与することです。

センターでは、現在、海洋温度差エネルギー分野と海洋流体エネルギー分野の 2 分野から成る『Ⅰ基幹部門』で、海洋温度差発電と波力発電に関する基礎的応用的研究を行っています。また、海洋エネルギーシステム分野、海洋エネルギー物質創生分野、海水淡水化分野、海洋エネルギー環境情報分野、海洋深層水利用科学技術分野、海洋エネルギー利用推進分野の 6 分野で構成される『Ⅱ利用・開発分野』では、海洋エネルギーの利用などの研究・開発を行っています。

本報告書は、2013 年度のセンターの活動をまとめたものです。

海洋エネルギーに対する期待も一層高まり、国内外から多くの施設見学者を迎え入れています。センター教員一同も海洋エネルギーの実用化に向けてより一層の努力を続けているところです。

今後とも、センターの活動・運営にご協力及びご高配のほど宜しく申し上げます。

活動経緯

期 日	行 事	会 場
2013.7.19	オープンラボ	佐賀大学海洋エネルギー 研究センター
2013.9.7-8	第 12 回海洋エネルギーに関する合同セミナー	福岡・博多
2013.9.25	海洋エネルギーシンポジウム 2013	佐賀大学海洋エネルギー 研究センター
2013.9.26	平成 25 年度全国共同利用成果発表会	佐賀大学海洋エネルギー 研究センター
2014.3.26	海洋エネルギーに関する国際セミナー2013	佐賀大学海洋エネルギー 研究センター
2014.3.27	平成 25 年度末成果発表会	佐賀大学海洋エネルギー 研究センター

沖縄県久米島 海洋温度差発電実証プラント「通電式」報告

2013年6月17日、沖縄県久米島町の沖縄県海洋深層水研究所に併設する海洋温度差発電実証プラントにおいて、国や県、町の関係者、設備業者、国内外の研究者が出席し、通電式が行われた。このプラントを用いて気象条件の変化など長時間運転に関するデータを蓄積し、本格的な商業プラントの開発につなげる予定である。また、翌18日には、海洋深層水利用、海洋温度差発電の可能性を考える記念講演会が開かれた。国内外の専門家5名による講演会には、多くの町民が参加し、久米島における海洋エネルギーへの期待の高さを感じさせた。



海洋温度差発電プラント



通電式



記念講演会



講演会の様子

第 12 回 海洋エネルギーに関する合同研究セミナー
The 12th Japan-Korea Joint Young Researcher Forum on Ocean Energy

海洋エネルギーに関する合同研究セミナーは、日韓の研究者における海洋エネルギー研究に関する学術交流と若手研究者の教育を主な目的として、韓国釜慶大学校、韓国海洋大学校、水産大学校、佐賀大学を中心に毎年夏に開催されています。セミナーでは毎回、講演会、ポスターセッションが行われ、海洋エネルギーやその周辺技術に関する研究について活発な討論が行われています。

Date: September 7-8, 2013

Venue: Conference Room 501, SunLife3 building

Hakataeki Higashi 2-5-19, Hakata-Ku, Fukuoka, JAPAN

Participation: Korea Maritime University, Pukyong National University, Saga University, National Fisheries University

Schedule

Sep7 (Sat)

15:00-15:10	Opening
15:10-15:30	Evaporation Heat Transfer of Pure Refrigerant Flowing Down in a Vertical Rectangular Minichannel with Serrated-Fins (Prof. Junichi Ohara, Fish-U)
15:30-15:50	A Study of Pulsating Heat Pipe type Exhaust Heat Recovery System for High Temperature and Humidity Environment (Yeon-Woo Gu, PKNU)
15:50-16:10	Maximum Power and Thermal Efficiency of Single and Double-Stage Rankine Cycle (Takafumi Morisaki, Saga-U)
16:10-16:30	Coffee Break
16:30-16:50	Performance analysis of marine current turbine by CFD and Experiment (Kim Incheol, KMU)
16:50-17:10	A study on the extraction of wave energy using the float-counterweight wave energy converter (Koirala Pallav, Saga-U)
17:10-17:30	Design of Eco Block for Protection of Submerged Pipeline (YongHun Lee, KMU)
18:00-20:00	Welcome Party

Sep8 (Sun)

09:00-09:20	Real time simulation of high pressure filling of H2 tank (Alam Miah M.D. Ashraful, Saga-U)
-------------	--

09:20-09:40	Development of high performance Bubble Jet Loop Heat Pipe using enhanced boiling surface in evaporating section (Jong-Seok Shin, PKNU)
09:40-10:00	A study on LED heat dissipation in high-performance by using the sintered metal on boiling heat transfer surface (Jun Heo, PKNU)
10:00-10:20	Coffee Break
10:20-11:40	Poster Session
11:40-11:50	Closing

Poster Presentations

Korea Maritime University

1	Lee Nakjoong	Performance analysis of a counter-rotating marine current turbine due to blade gap by CFD and experiment
2	Park Jihoon	CFD Performance Analysis of 100kW class Propeller-type Hydro Turbine by The Variable Speed Control Method
3	Hyun-Jin Lee	Comparison between Volume PIV and Volume PTV
4	Min-Gyu Jeon	A Non-Contact Remote Micro Vibration Detection System
5	Nirmal Acharya	Design optimization of a 5kW cross-flow hydro-turbine by numerical analysis
6	Zhao Yuxin	Swirl angle analysis and vortex check in sump tests by experiment and CFD

SagaUniversity

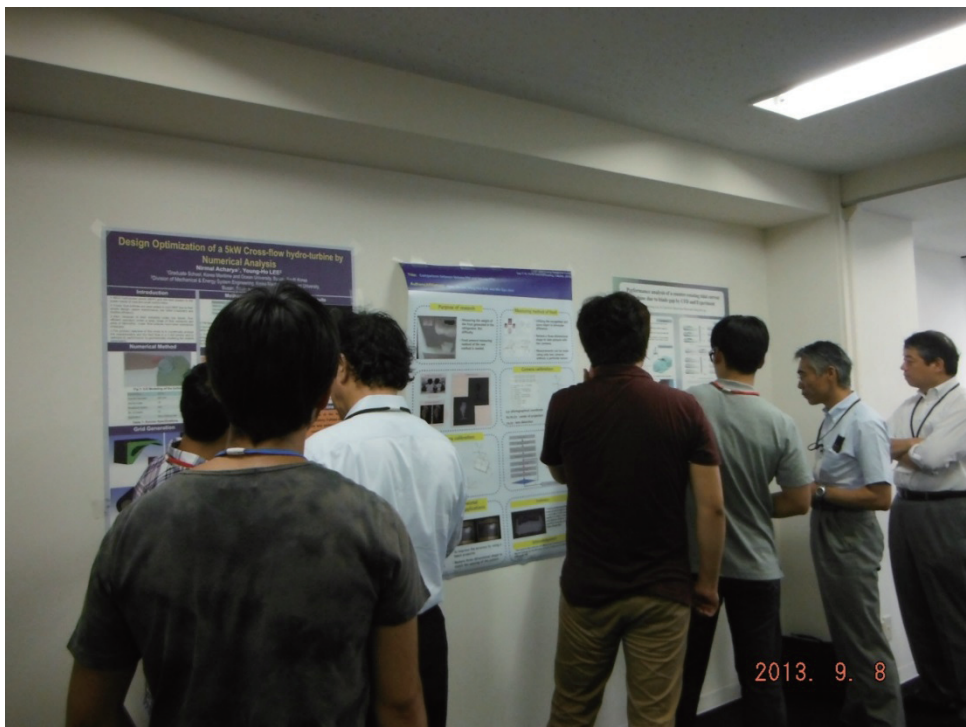
1	Motoki Ario	Numerical study of primary conversion of a fixed OWC wave energy converter
2	Kota Sueyoshi	An experimental study of primary conversion of a floating wave energy converter "Backward Bent Duct Buoy"
3	Kojun Tsujimoto	Effect of body shape on final conversion efficiency of a pendulum-type wave energy converter

Pukyong National University

1	Jeong-Woong Kim	A basic study for combatting desertification system using heat pipes
---	-----------------	--



参加者



ポスターセッション

海洋エネルギーシンポジウム 2013

海洋エネルギーシンポジウムは、エネルギー問題と環境問題を解決するための代替エネルギーの候補の一つである海洋エネルギーおよびその周辺技術の公開と討論の場として、毎年 9 月に当センター伊万里サテライトにおいて開催されています。講演は一般に公募する形で講演を募集しています。今年度のシンポジウムでは、基調講演 2 件、一般講演 10 件、合計 12 件の発表が行われ、活発な意見交換が行われました。

日時：平成 25 年 9 月 25 日（水）10:00～17:00

会場：佐賀大学 海洋エネルギー研究センター 伊万里サテライト 3F 研修室

プログラム

10:00-10:10 開会挨拶

センター長 永田修一

基調講演

10:10-11:10 博多湾における浮体式海上風力発電の実証実験結果

九州大学 経塚雄策

11:10-12:10 浮体式潮流・風力ハイブリッド発電システム [skwid]

三井海洋開発株式会社 中村拓樹

一般講演

13:00-13:20 “海のエクメーネ” 海洋深層水を複合利用した電力・淡水・漁場生産施設

東京大学 大内一之

13:20-13:40 固定式 OWC 型波力発電装置の不規則波特性

琉球大学 鈴木正己

13:40-14:00 波力発電用ウエルズタービンに関する研究（性能に及ぼすブースタービンの効果）

松江工業高等専門学校 奥原真哉

14:00-14:20 左右非対称浮体内部設置型回転振子による波エネルギーの吸収

大阪大学 酒井克弘

14:20-14:40 ジャイロ式波力発電システムの発電性能評価

鳥取大学 有井士郎

14:40-15:00 休憩

15:00-15:20 マルチカラム型波力発電の研究開発

九州大学 安澤幸隆

15:20-15:40 浮体式洋上浮力発電の実証研究

京都大学 宇都宮智昭

15:40-16:00 ナセル部分の加速度という視点で見た洋上風車内の作業環境

横浜国立大学 村井基彦

16:20-16:40 潮流発電用ダリウス形水車の発生トルク特性と起動アシスト実験

大島商船高等専門学校 清水聖治

16:40-7:00 越波式波力発電装置の研究開発について

東海大学 居波智也

17:00 閉会

18:00- 交流会

会場風景



平成 25 年度 共同利用・共同研究成果発表会

共同利用・共同研究成果発表会は、前年度に海洋エネルギー研究センター共同利用・共同研究課題に採択された国内外の研究者による研究成果発表会です。講演は毎年約 10 件で、前度前に行われた各共同研究課題の成果が報告されます。海洋エネルギーおよびその周辺技術について様々な専門分野における研究発表が聴講できます。

日時：平成 25 年 9 月 26 日（木） 10:00～15:00

会場：佐賀大学 海洋エネルギー研究センター 伊万里サテライト 3F 研修室

プログラム

10:00-10:05 開会挨拶

センター長 永田修一

10:05-10:15 平成 25 年度 全国共同利用研究 概要説明

10:15-10:35 水およびアンモニア/水混合媒体の沸騰熱伝達の経年変化に及ぼす界面活性剤の影響

久留米工業大学 井上利明

10:35-10:55 アンモニアとフロン R123 の水平溝付管内蒸発流において環状流が生成される条件に関する研究

長崎大学 桃木悟

10:55-11:15 海洋温度差発電プラントのシミュレータを用いた遠隔操作システムに関する研究

久留米工業高等専門学校 江頭成人

11:15-11:35 HFC-245fa を用いた船用排熱発電システムに関する研究

鳥羽商船高等専門学校 嶋岡芳弘

11:35-11:55 海水からマグネシウムの電解採取技術

佐賀大学 池田進

11:55-12:15 海洋温度差発電実験装置における液位制御のための制御器構成に関する研究

佐賀大学 松田吉隆

12:15-13:00 休憩

13:00-13:20 農業利用を指向した脱塩材の開発

千葉大学 和嶋隆昌

13:20-13:40 波力発電用直線翼垂直軸タービンの性能に及ぼすロータ翼型の影響

米子工業高等専門学校 早水庸隆

13:40-14:00 沿い波利用型波力発電用遊水室内について

山口大学 羽田野袈裟義

14:00-14:20 小型の波浪発電を想定した浮体運動の最大化を目的とした浮体形状に関する研究

横浜国立大学 西澤峻也

14:20-14:40 海洋エネルギーの理解を促進する教材の提案

埼玉大学 山本利一

14:40-15:00 FCV 用水素貯蔵容器を模した密閉容器内の非定常熱伝達特性

明石工業高等専門学校 田中誠一

15:00-15:05 閉会挨拶

副センター長 池上康之

15:05- 施設見学会

会場風景



平成 25 年度 佐賀大学海洋エネルギー研究センター成果発表会

当センターでは、学内外の方々へ向けて教職員の 1 年間の研究活動について報告を行うために、伊万里サテライトにて毎年度末に年度末成果発表会を開催しています。成果発表会は「海洋エネルギーに関する国際セミナー」と併せて毎年 2 日間の日程で行っており、今年度は、63 名（学外 21 名、学内 42 名）の参加がありました。成果発表会では、海洋温度差部門で 4 件、海洋流体部門で計 3 件、水素関連で 2 件、計 9 件の研究発表が行われ、会場の参加者を交えた活発な意見交換も行われました。また、発表会終了後には、伊万里サテライトへ初めて来訪者された参加者に向けて施設見学会も行いました。

日時: 2014 年 3 月 27 日 (木) 10:00~15:00

会場: 佐賀大学海洋エネルギー研究センター 伊万里サテライト

プログラム

- | | |
|-------------|---|
| 10:00 | 開会挨拶 |
| 10:00-10:10 | センター自己評価・点検 [永田修一・センター長] |
| 海洋温度差発電関連 | |
| 10:10-10:30 | 「多段ランキンサイクルを用いた海洋温度差発電に関する研究」
池上康之 |
| 10:30-10:50 | 「PEEK コーティングアルミ伝熱面におけるアンモニアのプール沸騰熱伝達」 有馬博史 |
| 10:50-11:00 | 休憩 |
| 11:00-11:20 | 「並流型および向流型プレート式熱交換器における FC-72 流動沸騰に関する研究」 小山幸平 |
| 11:20-11:40 | 「表面微細加工を施したプレート式蒸発器における伝熱促進効果に関する研究」 川畑 佑介 |
| 11:40-12:50 | 昼食 |
| 波力発電関連 | |
| 12:50-13:10 | 「固定 OWC 波力発電装置の発電効率」 今井康貴 |
| 13:10-13:30 | 「浮体型振り子式波力発電装置の負荷特性」 村上天元 |
| 13:30-13:50 | 「Numerical Study on the Primary Energy Conversion of Multi-chamber Oscillating Water Column」 Pallav Koirala |
| 13:50-14:00 | 休憩 |
| 水素関連 | |
| 14:00-14:20 | 「水素吸蔵合金充填層の有効熱伝導率について」 松下政裕 |

14:20-14:50 「水素急速充填の熱的問題と新たな充填方法に向けての取り組み」
門出政則

14:50- 閉会挨拶

15:00-17:00 センター施設見学会

会場風景



参加者



参加者



発表風景



発表風景



案内ポスター

海洋エネルギーに関する国際セミナー2014 (International Seminar on Ocean Energy 2014)

当センターでは、毎年度末に伊万里サテライトにて海洋エネルギーに関する国際セミナーを開催しています。国際セミナーは「海洋エネルギー研究センター年度末成果発表会」と併せて毎年2日間の日程で行っており、今年度は、59名（学外22名、学内37名）の参加がありました。国際セミナーでは、毎年、海洋エネルギーに関する研究で活躍されている国内外の3名の研究者をご招待してご講演いただいています。今年度は、ハワイ大学の Luis A. Vega 先生による「太平洋島しょ国における OTEC および波力発電の研究とアジア地域における開発」、英エジンバラ大学の Henry Jeffrey 先生による「英国及びヨーロッパの海洋エネルギープロジェクトの紹介」、海上技術安全研究所の井上俊司氏による「洋上の再生エネルギー開発における安全性の評価」についての講演が行われました。講演終了後、会場では参加者も交えた活発な意見交換も行われ、盛況の中セミナーは終了しました。

日時: 2014 年 3 月 26 日 (水) 14:00~17:30

会場: 佐賀大学海洋エネルギー研究センター 伊万里サテライト

プログラム

14:00	Opening Remarks
14:10-15:10	"Ocean thermal energy conversion and wave energy conversion for pacific island nations and developing countries in Asia" Prof. Luis A. Vega, National Marine Renewable Energy Center University of Hawaii , USA
15:10-16:10	"An overview of the UK and European ocean energy reset sector and projects" Prof. Henry Jeffrey, The University of Edinburgh, UK
16:10-16:25	Coffee break
16:25-17:25	"Evaluation of safety and performance in offshore renewable energy exploitation" Director, Offshore Renewable Energy Exploitation Department National Maritime Research Institute (JAPAN), Shunji Inoue [独立行政法人 海上技術安全研究所洋上再生エネルギー開発系長 井上俊司氏]
17:30	Closing Remarks

会議風景



Luis A. Vega 先生



Henry Jeffrey 先生



井上俊司氏



会場風景

2013 年度 オープンラボ（施設一般見学会）

当センターでは、センターでの研究について広く一般の方々に知っていただくため、毎年、海の日前後の土曜日に伊万里サテライトにてオープンラボを開催しています。今年度は、伊万里市内外から併せて 131 名の方々が参加されました。オープンラボでは、実験施設内を自由に見学していただき、海洋温度差、波力発電を始めとする各実験装置の前でスタッフが装置について詳しい説明を行うことで、当センターが普段行っている研究について理解を深めていただきました。また、今年度も子供向けの科学教室「電気ってどうやって作るの？」で様々な発電装置の模型を用いた体験学習会を開催しましたが、たくさんの子供たちが参加して発電の仕組みについて学びました。

日時: 2013 年 7 月 19 日（土）10:00~16:00

会場: 佐賀大学海洋エネルギー研究センター 伊万里サテライト

展示内容

センター紹介ビデオ上映	MiniOTEC 実演
30kWOTEC	海水淡水化装置
海洋深層水環境実験装置	総合監視室
水素実験室	化学分析室
リチウム回収実験室	国際貢献展示
地域貢献展示(伊万里市)	こども科学教室

見学風景



MiniOTEC 展示



波力実験室



水素実験室



科学教室

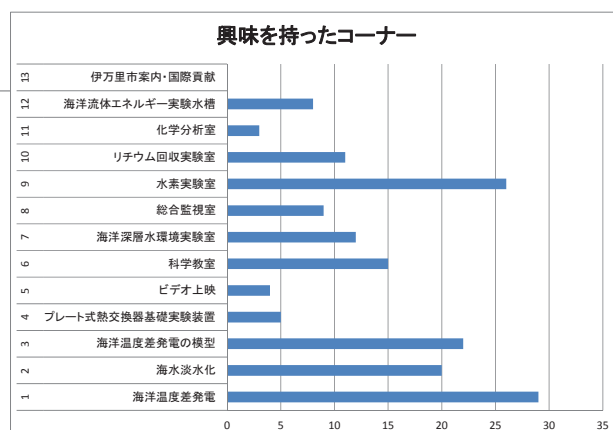
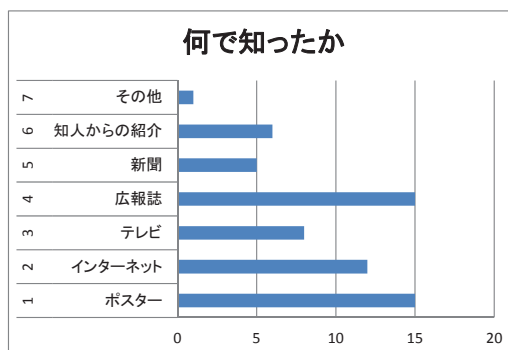
見学者データ

合計: 131 名

内訳

職業・学校	人数 (内海外)	%
幼児	12	9.2
小学生	20	15.3
中学生	3	2.3
高校	16	12.2
短大	0	0
大学	1	0.8
大学院	0	0
公務員	5	3.8
教員	2	1.5
会社員	23	17.6
その他	49	37.4
合計	131	100

アンケート結果



2013 年度見学会実績

海洋エネルギー研究センター伊万里サテライト（実験施設）では、研究成果の公開およびエネルギー環境教育の推進を目的として、実験施設の一般公開を行っている。見学は研究教育の都合上、毎週祝祭日を除く木曜日と金曜日の 2 日間、午後 2 時から午後 4 時まで受け入れている。見学会は約 1 時間半のコースで、職員が館内を案内する。また、見学者にはパンフレットを配布し、詳細な情報を提供している。

内訳

所属	人数
大学・研究機関	273
行政・政府	16
財団・協会	107
民間	82
小中高等学校関係	375
メディア	18
一般	138
オープンラボ	131
その他	224
合計（うち外国人）	1364(150)

海外からの訪問者（順不同）

アメリカ、アンティグアバーブーダ、インドネシア、エクアドル、オーストラリア、オランダ、カーボベルデ共和国、カザフスタン、韓国、ザンビア共和国、シンガポール、スロバキア、セントビンセントおよびグレナディーン諸島、タイ、台湾、チリ、中国、ナイジェリア、ニカラグア、パキスタン、バングラデシュ、フランス、ペルー、ポーランド、ボスニアヘルツェゴビナ、ボリビア、ホンジュラス、マレーシア、モンゴル

組織

氏名	職名	備考
永田 修一	教授	センター長
門出 政則	教授	
瀬戸口 俊明	教授	
池上 康之	教授	副センター長
杉 剛直	准教授	
有馬 博史	准教授	
今井 康貴	准教授	
松下 政裕	助教	
小山 幸平	助教	
村上 天元	助教	
林 信行	教授（併任）	
野口 英行	教授（併任）	
渡 孝則	教授（併任）	
大和 武彦	教授（併任）	
新井 康平	教授（併任）	
荒木 宏之	教授（併任）	
檜澤 秀木	教授（併任）	
角 和博	教授（併任）	
後藤 聡	教授（併任）	
高坂 祐顕	非常勤博士研究員	
川畑 佑介	研究機関研究員	
Mutair Sami Mohammed Ismail	産学官連携研究員	

氏名	職名	備考
Alam Miah Md. Ashraful	研究機関研究員	
Pallav Koirala	研究機関研究員	
浦田 和也	技術専門職員	
岩崎 君夫	技能補佐員	
松永 成正	技能補佐員	
棕本 美智子	技術補佐員	
永江 壽光	技能補佐員	
前田 康貴	技能補佐員	
木下 直樹	技能補佐員	
廣 智恵	技能補佐員(研究支援推進員)	
七種 結衣	技能補佐員(研究支援推進員)	
松本 理恵	技能補佐員	
馬場 美智留	事務補佐員	
光武 麻理子	事務補佐員	
古川 佳奈子	事務補佐員	
水町 妃呂美	事務補佐員	
川崎 康子	事務補佐員	
田中 宏恵	事務補佐員	
田中 美由紀	技術補佐員	

業 績 集

学術論文

著者	題名	雑誌名	Vol.	No.	ページ	年	月
呉雪松 光武雄一 門出政則 布浦達也 角掛繁	非定常熱伝導逆問題解を用いた熱物性値の簡易測定法(中空円筒試料への適用)	日本機械学会論文集(B編)	79	800	660-674	2013	4
Khan, Md.T.I. Monde, M.	Characteristics of CFRP hydrogen storage vessel on rising temperature in the filling process	Procedia Engineering	56		719-724	2013	5
Fujisawa, A. Miura, S. Mitsutake, Y. Monde, M.	Simulation study of hydrogen purification using metal hydride	Journal of Alloys and Compounds	580	1	S423-S426	2013	12
Mozumder, A.K. Mitsutake, Y. Monde, M.	Subcooled water jet quenching phenomena for a high temperature rotating cylinder	International Journal of Heat and Mass Transfer	68		466-478	2014	1
Kumar, A. Kim, H.D. Setoguchi, T.	Computational analysis of the wave motions in micro shock tube flow	Journal of Mechanical Engineering, I Mech E: Part G	228	4	594-610	2014	3
Hamid, Md.A. Hasan, A.B.M.T. Alimuzzaman, S.M. Matsuo, S. Setoguchi, T.	Compressible flow characteristics around a biconvex airfoil arc airfoil in a channel	Propulsion and Power Research	3	1	29-40	2014	3
Alam, M.M.A. Setoguchi, T. Matsuo, S. Kim, H.D.	Homogeneous condensation in supersonic impinging jets onto cylindrical cavity	International Journal of Aeroacoustics	12	5-6	475-506	2013	10
Setoguchi, T. Alam, M.M.A. Monde, M. Kim, H.D.	Characteristics of turbulent confined jets during fast filling H ₂ tank at high pressure	International Journal of Aeroacoustics	12	5-6	455-474	2013	10
Alam, M.M.A. Setoguchi, T. Matsuo, S.	Numerical Computations on Non-Equilibrium Homogeneous Condensation in Ideally-Expanded Supersonic Jets	International Journal of Computational Methods	10	5	1350024	2013	10
Kong, F. Jin, J.Z. Setoguchi, T. Kim, H.D.	Numerical Analysis of Chevron Nozzle Effects on Performance of the Supersonic Ejector-Diffuser System	Journal of Thermal Science	22	5	459-466	2013	10
Kumar, A. Kim, H.D. Setoguchi, T.	Effect of Finite Diaphragm Rupture Process on Microshock Tube Flows	Transactions of ASME, Journal of Fluids Engineering,	158	8	1-10	2013	10
Nagao, J. Matsuo, S. Hashimoto, T. Setoguchi, T. Kim, H.D.	Control of Transonic Flow Fields Using Local Occurrence of Non-Equilibrium Condensation	Journal of Thermal Science	22	4	327-332	2013	8

著者	題名	雑誌名	Vol.	No.	ページ	年	月
Matsuo, S. Yokoo, K. Nagao, J. Nishiyama, Y. Setoguchi, T. Kim, H.D. Yu, S	Numerical Study on Transonic Flow with Local Occurrence of Non-Equilibrium Condensation	Open Journal of Fluid Dynamics	3	2A	42-47	2013	7
Okuhara, S. Takao, M. Takami, A. Setoguchi, T.	Wells Turbine for Wave Energy Conversion –Improvement of the Performance by Means of Impulse Turbine for Bi-Directional Flow	Open Journal of Fluid Dynamics	3	2A	36-41	2013	7
Liu, P. Oka, Y. Kinoue, Y. Shiomi, N. Setoguchi, T. Jin Y.Z.	Design of Half- Ducted Axial Flow Fan Considering Radial Inflow and Outflow (Comparison of Half-Ducted Design with Ducted Design)	Open Journal of Fluid Dynamics	3	2A	1-8	2013	7
Suryan, A. Kim, H.D. Setoguchi, T.	Comparative study of turbulence models performance for refueling of compressed hydrogen tanks	International Journal of Hydrogen Energy	38	22	9562-9569	2013	7
Nagao, J. Matsuo, S. Suetsugu, S. Setoguchi, T. Kim, H.D.	Characteristics of high Reynolds number flow in a critical nozzle	International Journal of Hydrogen Energy	38	21	9043-9051	2013	7
Nakabaru, T. Hashimoto, T. Matsuo, S. Setoguchi, T. Rajesh, G.	Generating and Focusing of Underwater Expansion Wave using a Silicon Resin Reflector	Journal of Thermal Science	22	3	209-215	2013	6
Hasan, A.B.M.T. Matsuo, S. Setoguchi, T. Hashimoto, T. Kim, H.D.	Effect of Condensing Moist Air on Unsteady Shock Waves around a Symmetric Disk in Transonic Internal Flows	Aerospace Science and Technology	26	1	98-110	2013	4-5
Alam, M.M.A. Matsuo, S. Setoguchi, T.	Effect of Homogeneous Condensation on the Interaction of Supersonic Moist Air Jets with Resonance Tube	Journal of Applied Fluid Mechanics	6	2	203-212	2013	4
Matsuo, S. Suetsugu, S. Nagao, J. Hashimoto, T. Setoguchi, T. Kim, H.D.	Control of the Asymmetric Flow in Rocket Nozzles	Journal of Thermal Science	22	2	97-102	2013	4
Isshiki, H. Nagata, S. Imai, Y.	Solution of a Diffusion Problem in a Non-Homogeneous Flow and Diffusion Field by the Integral Representation Method (IRM)	Applied and Computational Mathematics	3	1	15-26	2014	2
森崎敬史 池上康之 後藤聡	海洋温度差発電実験装置の連続運転におけるスペクトル解析	海洋深層水利用学会論文誌「海洋深層水研究」	14	3	197-210	2014	3

著者	題名	雑誌名	Vol.	No.	ページ	年	月
森崎敬史 池上康之	2 段ランキンサイクルを用いた海洋温度差発電システム	海洋深層水利用学会論文誌「海洋深層水研究」	14	3	185-195	2014	3
Morisaki, T. Ikegami, Y.	Influence of temperature difference calculation method on the evaluation of Rankine cycle performance	Journal of Thermal Science	23	1	68-76	2014	1
Morisaki, T. Ikegami, Y.	Performance evaluation of heat exchangers in OTEC using ammonia/water mixture as working fluid	Open Journal of Fluid Dynamics	3	4	302-310	2013	12
有馬博史 小山幸平	高分子樹脂被覆アルミニウムのアンモニアを作動流体とした海洋温度差発電用プレート式熱交換器への利用可能性	軽金属	63	4	1-6	2013	4
松下政裕 門出政則 光武雄一	水素吸蔵合金の有効熱伝導率の計算	日本機械学会論文集 (B 編)	79	804	1664-1674	2013	8
Matsushita, M. Monde, M. Mitsutake, Y.	Experimental formula for estimating porosity in a metal hydride packed bed	International Journal of Hydrogen Energy	38	17	7056-7064	2013	6
Koyama, K. Chiyoda, H. Arima, H. Ikegami, Y.	Experimental study on thermal characteristics of ammonia flow boiling in a plate evaporator at low mass flux	International Journal of Refrigeration	38	1	227-235	2014	2
Murakami, T. Kanemoto, T. Takano, G. Kasahara, R.	Numerical Flow Simulation in Turbine Mode of Counter- Rotating Type Pumping Unit to Cooperate with Wind Turbine	Journal of Energy and Power Engineering	7	9	1770-1777	2013	9
西田茂人 杉剛直 池田昭夫 長峯隆 松橋眞生 柴崎浩 中村政俊	脳波自動判読システムにおける短時間脳波の自動検出と特徴抽出ー優位律動と徐波の検出ー	臨床神経生理学	41	3	127-133	2013	6
Matsuda, Y. Goto, S. Sugi, T.	Design of PD-type Anti-windup Compensators for Control Systems with Input and Output Saturation Nonlinearities via Linear Matrix Inequality	International Journal of Innovative Computing, Information and Control	9	9	3863-3874	2013	9
Jayakody, L.N. Horie, K. Hayashi, N. Kitagaki, H.	Engineering redox cofactor utilization for detoxification of glycolaldehyde, a key inhibitor of bioethanol production, in yeast <i>Saccharomyces cerevisiae</i>	Applied Microbiology and Biotechnology	97	14	6589-6600	2013	6
Andi, N.F.R. Ohta, M. Li, Y. Nakatani, K. Hayahi, N. Fujita, S.	Purification and characterization of polyphenol oxidase from Broccoli (<i>Brassica oleracea</i> L. Italica Group)	Food Reservation Science	39	5	273-282	2013	10

著者	題名	雑誌名	Vol.	No.	ページ	年	月
Rahmawati, S.I. Ishimaru, K. Hou, D.X. Hayashi, N.	Antioxidant Activity and Phenolic Content of Mistletoe Extracts Following High-Temperature Batch Extraction	Food Science and Technology Research	20	2	201-206	2014	2
Watari, T. Tsuji, T. Mori, K. Luitel, H.N. Rorikai, T. Yada, M. Xu, C.N. Terasaki, T.	Fabrication and characterization of calcium silicate phosphors -Ca ₂ SiO ₄ and Ca ₂ MgSi ₂ O ₇ -	Materials Science Forum	761		59-64	2013	6
Luitel, H.N. Chand, R. Torikai, T. Yada, M. Watari, T.	Rare Earth Free Zn ₃ V ₂ O ₈ Phosphor with Controlled Microstructure and Its Photocatalytic Activity	International Journal of Photoenergy	2013		410613	2013	10
Luitel, H.N. Watari, T. Chand, R. Torikai, T. Yada, M.	Tuning the luminescence color and enhancement of afterglow properties of Sr ₄ (x?y)Ca ₂ BayAl ₁₄ O ₂₅ :Eu ²⁺ , Dy ³⁺ phosphor by adjusting the composition	Materials Science and Engineering B	178	12	834-842	2013	12
Luitel, H.N. Ikeue, K. Okuda, R. Chand, R. Torikai, T. Yada, M. Watari, T.	Bright orange upconversion in a ZnO-TiO ₂ composite containing Er ³⁺ and Yb ³⁺	Optical Materials	36		591-595	2014	1
Arai, K.	Geography Markup Language: GML based representation of time series of assimilation data and its application to animation content creation and representations	International Journal of Advanced Research in Artificial Intelligence	2	4	18-22	2013	4
Arai, K. Nishikawa, T.	Method for car in dangerous action detection by means of wavelet Multi-Resolution Analysis based on appropriate support length of base function	International Journal of Advanced Research in Artificial Intelligence	2	4	13-17	2013	4
Arai, K. Abdullah, I.N. Okumura, H. Kawakami, R.	Improvement of automated detection method for clustered micro calcification base on wavelet transformation and support vector machine	International Journal of Advanced Research in Artificial Intelligence	2	4	23-28	2013	4
Arai, K.	Category decomposition method for un-mixing of mixels acquired with spaceborne based visible and near infrared radiometers by means of Maximum Entropy Method with parameter estimation based on Simulated Annealing	International Journal of Advanced Research in Artificial Intelligence	2	4	64-69	2013	4

著者	題名	雑誌名	Vol.	No.	ページ	年	月
Arai, K.	Comparison between linear and nonlinear models of mixed pixels in remote sensing satellite images based on Cierniewski surface BRDF model by means of Monte Carlo ray tracing simulation	International Journal of Advanced Research in Artificial Intelligence	2	4	1-7	2013	4
Arai, K. Handayani, A.N.	E-learning system utilizing learners' characteristics recognized through learning process with Open Simulator	International Journal of Advanced Research in Artificial Intelligence	2	4	8-12	2013	4
Arai, K.	Sea ice concentration estimation method with satellite based visible to near infrared radiometer data based on category decomposition	International Journal of Advanced Research in Artificial Intelligence	2	5	7-13	2013	5
Arai, K.	Sensitivity analysis on sea surface temperature estimation method with thermal infrared radiometer data through simulations	International Journal of Advanced Research in Artificial Intelligence	2	5	14-21	2013	5
Arai, K.	Remote sensing satellite image database system allowing image portion retrievals utilizing principal component which consists spectral and spatial features extracted from imagery data	International Journal of Advanced Research in Artificial Intelligence	2	5	32-38	2013	5
Arai, K.	Image clustering method based on Self-Organization Mapping: SOM derived density maps and its application for Landsat Thematic Mapper image clustering	International Journal of Advanced Research in Artificial Intelligence	2	5	22-31	2013	5
Arai, K.	Rice crop quality evaluation method through regressive analysis between nitrogen content and near infrared reflectance of rice leaves measured from near field radio controlled helicopter	International Journal of Advanced Research in Artificial Intelligence	2	5	1-6	2013	5
Arai, K.	Mashup Based Content Search Engine for Mobile Devices	International Journal of Advanced Research in Artificial Intelligence	2	5	39-43	2013	5
Arai, K.	Lecture's e-Table (server terminal) which allows monitoring the location at which each student is looking during lessons with e-learning contents through client terminals	International Journal of Advanced Research in Artificial Intelligence	2	6	40-45	2013	6
Arai, K.	Category decomposition method based on matched filter for un-mixing of mixed pixels acquired with space borne based hyper-spectral radiometers	International Journal of Advanced Research in Artificial Intelligence	2	6	20-26	2013	6
Arai, K. Tolle, H. Serita, A.	Mobile devices based 3D image display depending on users' actions and movements	International Journal of Advanced Research in Artificial Intelligence	2	6	71-78	2013	6
Arai, K. Hasegawa, K.	Method for psychological status monitoring with line of sight vector changes (Human eyes movements) detected with wearing glass	International Journal of Advanced Research in Artificial Intelligence	2	6	65-70	2013	6

著者	題名	雑誌名	Vol.	No.	ページ	年	月
Arai, K.	Monte Carlo ray tracing based adjacency effect and nonlinear mixture model for remote sensing satellite image data analysis	International Journal of Advanced Research in Artificial Intelligence	2	6	56-64	2013	6
Arai, K.	Monte Carlo Ray Tracing: MCRT based knowledge base system for texture mapping together with height estimation using objects' shadow with high spatial resolution remote sensing satellite imagery data	International Journal of Advanced Research in Artificial Intelligence	2	6	51-55	2013	6
Herdiyeni, Y. Nurfahilah, E. Ervizal, A. Zuhud, M. Danayanti, E.K. Arai, K. Okumura, H.	A Computer Aided System for Tropical Leaf Medicinal Plant Identification	International Journal on Advanced Science, Engineering and Information Technology	3	1	23-27	2013	6
Arai, K.	Method for 3D rendering based on intersection image display which allows representation of internal structure of 3D objects	International Journal of Advanced Research in Artificial Intelligence	2	6	46-50	2013	6
Arai, K. Sentinuwo, S.R.	Effect of drivers' scope of awareness with lane changing maneuvers using cellular automaton method	International Journal of Advanced Research in Artificial Intelligence	2	7	6-12	2013	7
Arai, K.	Recovering method of missing data based on the proposed modified Kalman filter when time series of mean data is known	International Journal of Advanced Research in Artificial Intelligence	2	7	18-23	2013	7
Arai, K. Rahmad, C.	Comparative study between the proposed shape independent clustering method and the conventional method (k-means and the others)	International Journal of Advanced Research in Artificial Intelligence	2	7	1-5	2013	7
Arai, K. Asmara, R.A.	3D skeleton model derived from Kinect depth sensor camera and its application to walking style quality evaluations	International Journal of Advanced Research in Artificial Intelligence	2	7	24-28	2013	7
Arai, K. Sentinuwo, S.R.	Validity of spontaneous braking and lane changing with scope of awareness by using measured traffic flow	International Journal of Advanced Research in Artificial Intelligence	2	7	13-17	2013	7
Arai, K.	Prediction method of El Nino Southern Oscillation event by means of wavelet based data compression with appropriate support length of base function	International Journal of Advanced Research in Artificial Intelligence	2	7	16-20	2013	7
Arai, K. Abdullah, I.N. Okumura, K.	Image identification based on shape and color descriptors and its application to ornamental leaf	International Journal of Image, Graphics and Signal Processing	5	10	1-8	2013	8
Arai, K.	Comparison between Rayleigh and Mie scattering assumptions for Z-R relation and rainfall rate estimation with TRMM/PR data	International Journal of Advanced Research in Artificial Intelligence	2	8	1-6	2013	8

著者	題名	雑誌名	Vol.	No.	ページ	年	月
Arai, K.	Comparative study on sea surface temperature estimation with thermal infrared radiometer data among conventional MCSST, split window and conjugate gradient based methods	International Journal of Advanced Research in Artificial Intelligence	2	8	7-15	2013	8
Arai, K.	Prediction method of El Nino Southern Oscillation event by means of wavelet based data compression with appropriate support length of base function	International Journal of Advanced Research in Artificial Intelligence	2	8	16-20	2013	8
Arai, K.	Wearable computing system with input output devices based on eye-based Human Computer Interaction: HCI allowing location based web services	International Journal of Advanced Research in Artificial Intelligence	2	8	34-39	2013	8
Arai, K.	Access fee charging system for information contents sharing through P2P communications	International Journal of Advanced Research in Artificial Intelligence	2	8	28-33	2013	8
Arai, K.	Multi spectral image classification method with selection of independent spectral features through correlation analysis	International Journal of Advanced Research in Artificial Intelligence	2	8	21-27	2013	8
田口浩太郎 小田まり子 河野央 小田誠雄 新井康平	知的障害児のためのCGアニメーションを用いた教育支援ソフトウェアの開発	教育システム情報学会誌	31	1	48-56	2013	9
Hu, J.Y. Paudel, A. Seto, N. Feng, X. Era, M. Matsumoto, T. Tanaka, J. Elsegood, M.R.J. C. Redshaw, C. Yamato, T.	Pyrene-cored blue-light emitting [4]helicenes: Synthesis, crystal structures, and photophysical properties	Organic & Biomolecular Chemistry	11		2186-2197	2013	4
Ni, X.L. Cong, H. Yoshizawa, A. Rahman, S. Tomiyasu, H. Rayhan, U. Zeng, X. Yamato, T.	Heteroditopic thiocalix[4]arene receptor having ester and bipyridyl moieties for ions binding with positive/negative allosteric effect	Journal of Molecular Structure	1046		110-115	2013	4
Hu, J.Y. Feng, X. Tomiyasu, H. Seto, N. Do, J.H. Elsegood, M.R.J. Redshaw, C. Yamato, T.	Synthesis and fluorescence emission properties of 1,3,6,8-tetraarylpyrenes	Journal of Molecular Structure	1047		194-203	2013	4

著者	題名	雑誌名	Vol.	No.	ページ	年	月
Feng, X. Hu, J.Y. Iwanaga, F. Seto, N. Redshaw, C. Elsegood, M.R.J. Yamato, T.	Blue-Emitting Butterfly-Shaped 1,3,5,9-Tetraarylpyrenes: Synthesis, Crystal Structures and Photophysical Properties	Organic Letters	15		1318-1321	2013	4
Cong, H. Wang, Y.H. Tao, Z. Xue, S.F. Yamato, T.	Substituent Effect of Substrates on Cucurbit[8]uril-catalytic Oxidation of Aryl Alcohols at Room Temperature	Journal of Molecular Catalysis A: Chemical	374-375		32-38	2013	4
Hu, J.Y. Feng, X. Seto, N. Iwanaga, F. Do, J.H. Era, M. Matsumoto, T. Tanaka, J. Yamato, T.	Synthesis, crystal structure and photophysical properties of 7-tert-butyl-5-mono- and 5,9-bis-(4-methoxyphenylethynyl)-1,3-dimethylpyrene	Journal of Luminescence	141		111-120	2013	4
Hassan, A.A. Ibrahim, Y.R. Aly, A.A. El-Sheref, E.M. Yamato, T.	Reaction of Diethyl Ethylenedicarboxylate with (Substituted Ethylidene)hydrazinecarbothioamides	Journal of Heterocyclic Chemistry	50		473-477	2013	5
Feng, X. Iwanaga, F. Hu, J.Y. Seto, N. Redshaw, C. Elsegood, M.R.J. Yamato, T.	Approach to efficient synthesis of novel pyrene-fused azacenes	Organic Letters	15		3594-3597	2013	6
Hu, J.Y. Feng, X. Paudel, A. Rayhan, U. Tomiyasu, T. Thuery, P. Elsegood, M.R.J. Redshaw, C. Yamato, T.	Synthesis, Structural and Photophysical Properties of the First Member of New Class of Pyrene Based [4]Helicenes	European Journal of Organic Chemistry	2013	26	5829-5837	2013	7
Ni, X.L. Jin, C.C. Jiang, X.K. Takimoto, M. Rahman, S. Zeng, X. Hughes, D.L. Redshaw, C. Yamato, T.	Tri-substituted hexahomotrioxacalix[3]arene derivatives bearing imidazole units: synthesis and extraction properties for cations and chromate anions	Organic & Biomolecular Chemistry	11		5435-5442	2013	7

著者	題名	雑誌名	Vol.	No.	ページ	年	月
Cong, H. Yamato, T. Tao, Z.	Hemicucurbit[6]uril-induced aerobic oxidation of heterocyclic compounds	Journal of Molecular Catalysis A: Chemical	379		287-293	2013	10
Cong, H. Yamato, T. Tao, Z.	Chemo-selective oxidation of hydroxybenzyl alcohols with IBX in the presence of Hemicucurbit[6]uril	New Journal of Chemistry	37		3778-3783	2013	10
Feng, X. Hu, J.Y. Seto, N. Tomiyasu, H. Redshaw, C. Elsegood, M.R.J. Yamato, T.	Synthesis and photophysical properties of novel butterfly-shaped blue emitters based on pyrene	Organic & Biomolecular Chemistry	11		8366-8374	2013	11

国際会議 (Proceedings)

著者	題名	会議名	年	月	場所
Alam, M.M.A. Setoguchi, T. Hashimoto, T. Kim, H.D.	Spontaneous Nucleation of Moist Air in Supersonic Jets Impinging on Cavity	Asian Joint Conference on Propulsion and Power 2014	2014	3	Jeju (Korea)
Alam, M.M.A. Setoguchi, T. Matsuo, S. Kim, H.D.	The Discharge Coefficient for Various Sonic Nozzles	Asian Joint Conference on Propulsion and Power 2014	2014	3	Jeju (Korea)
Vincent, L. Setoguchi, T. Kim, H.D.	Numerical Investigation of Micro Nozzle Flows Using DSMC	Asian Joint Conference on Propulsion and Power 2014	2014	3	Jeju (Korea)
Das, R. Guang, Z. Setoguchi, T. Kim, H.D.	Cavity Based Combustion with Kerosene/Hydrogen Fuel Scramjets	Asian Joint Conference on Propulsion and Power 2014	2014	3	Jeju (Korea)
Kong, F. Kim, H.D. Setoguchi, T.	Starting Transient Flows in a Chevron Ejector-Diffuser System	Asian Joint Conference on Propulsion and Power 2014	2014	3	Jeju (Korea)
Deng, R. Kong, F. Kim, H.D. Setoguchi, T.	Numerical Simulation of the Fluidic Thrust Vectoring in an Axisymmetric Supersonic Nozzle	Asian Joint Conference on Propulsion and Power 2014	2014	3	Jeju (Korea)
Arun, K.R. Kim, H.D. Setoguchi, T.	CFD Study on Shock-Wave Boundary-Layer Interaction over a Rough Wall	14th Asian Congress of Fluid Mechanics	2013	10	Hanoi and Halong (Vietnam)
Park, J.O. Kim, H.D. Setoguchi, T.	Experimental Investigation of the Unsteady Flow Characteristics in a Micro Shock Tube	14th Asian Congress of Fluid Mechanics	2013	10	Hanoi and Halong (Vietnam)
Shiomi, M. Liu, P. Kinoue, Y. Setoguchi, T. Jin, Y.Z.	Three Dimensional Inlet Flow Fields of Half-Ducted Propeller Fan (Effect of Inlet Geometry)	12th Asian International Conference on Fluid Machinery	2013	9	Yogyakarta (Indonesia)
Takao, M. Okuma, S. Setoguchi, T.	Wells Turbine for Wave Energy Conversion – Improvement of Stall Characteristics by the Use of 3-Dimensional Blades–	4th International Conference on Jets, Wakes and Separated Flows	2013	9	Nagoya (Japan)
Kumar, R.A. Kim, H.D. Setoguchi, T.	Numerical Simulation on Micro Shock Tube Flow with a Finite Rupture Time of Diaphragm	21st International Symposium on Air Breathing Engines	2013	9	Busan (Korea)
Alam, M.M.A. Setoguchi, T. Matsuo, S. Kim, H.D.	Turbulent Confined Jets During Refueling of H2 Tank	9th Pacific Symposium on Flow Visualization and Image Processing	2013	8	Busan (Korea)
Alam, M.M.A. Setoguchi, T. Matsuo, S. Kim, H.D.	Impingement of Supersonic Condensing Jets onto Cylindrical Cavity	9th Pacific Symposium on Flow Visualization and Image Processing	2013	8	Busan (Korea)

著者	題名	会議名	年	月	場所
Park, J.O. Kim, H.D. Setoguchi, T.	Experimental Study of the Unsteady Characteristics in Micro Shock Tube	9th Pacific Symposium on Flow Visualization and Image Processing	2013	8	Busan (Korea)
Toyota, K. Nagata, S. Imai, Y. Setoguchi, T.	Experimental and Numerical Analysis on Conversion Efficiency of Floating Pendulum Wave Energy Converter in Regular Waves	23rd International Offshore (Ocean) and Polar Engineering Conference	2013	6-7	Alaska (USA)
Kong, F. Kim, H.D. Setoguchi, T. Jin, Y.Z.	Computational Analysis of Chevron Nozzle Effects on the Performance of a Supersonic Ejector-Diffuser System	4th Asian Symposium on Computational Heat Transfer and Fluid Flow	2013	6	Hong Kong (China)
Nagao, J. Matsuo, S. Setoguchi, T. Kim, H.D.	Numerical study of real gas flow through a critical nozzle	12th Asian Symposium on Visualization	2013	5	Tainan (Taiwan)
Shiomi, N. Oka, Y. Kinoue, Y. Setoguchi, T.	Internal Flow of Radial-Outflow Type Diagonal Flow Fan (Comparison between Experiment and Calculation)	11th International Symposium on Experimental and Computational erothermodynamics of Internal Flows	2013	5	Shenzhen (China)
Liu, P. Oka, Y. Kinoue, Y. Shiomi, N. Setoguchi, T. Jin, Y.Z.	Design of Half-Ducted Axial Flow Fan Considering Radial Inflow and Outflow (Comparison of Half-Ducted Design with Ducted Design)	11th International Symposium on Experimental and Computational erothermodynamics of Internal Flows	2013	5	Shenzhen (China)
Kong, F.S. Kim, H.D. Jin, Y.Z. Setoguchi, T.	Optimization Study of Chevron Nozzle for the Performance Improvement of a Supersonic Ejector-Diffuser System	11th International Symposium on Experimental and Computational erothermodynamics of Internal Flows	2013	5	Shenzhen (China)
Matsuo, S. Yokoo, K. Nagao, J. Nishiyama, Y. Setoguchi, T. Kim, H.D. Yu, S.	Numerical Study on Transonic Flow with Local Occurrence of Non-Equilibrium Condensation	11th International Symposium on Experimental and Computational erothermodynamics of Internal Flows	2013	5	Shenzhen (China)
Nagao, J. Matsuo, K. Hashimoto, T. Setoguchi, T. Kim, H.D.	Real Gas Effect on Discharge Coefficient for a Critical Nozzle at High Reynolds Number	11th International Symposium on Experimental and Computational erothermodynamics of Internal Flows	2013	5	Shenzhen (China)
Takao, M. Okuhara, S. Setoguchi, T.	Wells Turbine for Wave Energy Conversion –Effect of 3-dimensional Blade on the Performance–	11th International Symposium on Experimental and Computational erothermodynamics of Internal Flows	2013	5	Shenzhen (China)

著者	題名	会議名	年	月	場所
Okuhara, S. Takao, M. Takami, A. Setoguchi, T.	A Twin Turbine for OWC Device	11th International Symposium on Experimental and Computational aerothermodynamics of Internal Flows	2013	5	Shenzhen (China)
Ikegami, Y. Morisaki, T.	OTEC Using Multi-stage Rankine Cycle	23rd (2013) International Offshore (Ocean) and Polar Engineering Conference	2013	6	Anchorage (USA)
Ikegami, Y. Mutair, S.	Fresh Water from the Ocean- A Study on Desalinated Water Production at an Ocean Thermal Energy Cogeneration System	International Conference on Innovative Technologies and Management for Water Security	2014	2	Chennai (India)
Ikegami, Y.	New Stage of Ocean Thermal Energy Conversion in Japan and in the world	World NAOE Forum 2013 & International Symposium on Marine and Offshore Renewable Energy (WNF & MORE2013)	2013	10	Tokyo (Japan)
Mutair, S. Ikegami, Y.	The future of OTEC	OTEC Africa Conference 2013	2013	10	Boras (Sweden)
Ikegami, Y.	Overcoming Barrier in OTEC Development	APEC Conference on Clean, Renewable and Sustainable Use of Energy Toward Energy Security for Sustainable and Equitable Development in Asia and The Pacific Region	2013	10	Bali (Indonesia)
Ikegami, Y.	100 kW CC-OTEC Plant and Deep Ocean water Applications at Kumejima, Okinawa in Japan	Asia Pacific Clean Energy Summit and Expo held jointly with Islands & Isolated Communities Congress and International OTEC Symposium	2013	9	Hawaii (USA)
Ikegami, Y.	Country Activity of Japan on Marine Renewable Energy	The 6th Annual Global Marine Renewable Energy Conference -Introducing the Inaugural Marine Energy Technology Symposium-	2013	4	Washington DC (USA)
Imai, Y. Nagata, S. Toyota, K. Murakami, T. Setoguchi, T.	Conversion Efficiency of Floating Pendulum Wave Energy Converter in 2D Regular Waves	International Symposium on Marine and Offshore Renewable Energy	2013	10	Tokyo (Japan)

著者	題名	会議名	年	月	場所
Koyama, K. Chiyoda, H. Arima, H. Ikegami, Y.	Effect of Channel Geometry on Ammonia Boiling Heat Transfer of a Plate-type Evaporator	ASME 2013 Summer Heat Transfer Conference	2013	7	Minneapolis (USA)
Goto, K Sugi, T. Matsuda, Y. Goto, S. Fukuda, H. Goto, Y. Yamasaki, T. Tobimatsu, S.	Analysis of Visual Evoked Potentials for Different Stimuli: Effects of Color Combination and Patterns	35th Annual International IEEE EMBS Conference	2013	7	Osaka (Japan)
Sueyoshi, Y. Goto, K. Sugi, T. Matsuda, Y. Goto, S. Fukuda, H. Goto, Y. Yamasaki, T. Tobimatsu, S.	Physiological State Evaluation of VEP Recording by Combination of Image and EEG	35th Annual International IEEE EMBS Conference	2013	7	Osaka (Japan)
Tobinaga, K. Sugi, T. Matsuda, Y. Goto, S. Kawana, F.	Feature Analysis of PSG in Patients with Sleep Apnea Syndrome by Use of Complex Demodulation Method	35th Annual International IEEE EMBS Conference	2013	7	Osaka (Japan)
Goto, K. Sugi, T. Matsuda, Y. Goto, S. Fukuda, H. Goto, Y. Yamasaki, T. Tobimatsu, S.	Characteristic Analysis of Visual Evoked Potentials and Posterior Dominant Rhythm by Use of EEG Model	2013 13th International Conference on Control, Automation and Systems (ICCAS 2013)	2013	10	Gwangju (Korea)
Matsuura, T. Matsuda, Y. Sugi, T. Goto, S.	Analysis of Deterioration of Rotating Equipment with Misalignment via Experimental Data	The 45th ISCIE International Symposium on Stochastic Systems Theory and Its Applications	2013	11	Okinawa (Japan)
Takushima, K. Matsuda, Y. Sugi, T. Goto, S. Egashira, N.	Teleoperation of Robot Arm with Stereo Camera for Position Measurement	SICE Annual Conference 2013	2013	9	Nagoya (Japan)
Watari, T.	Fabrication and Characterization of ZnO-MO ₂ (M:Si,Ti) Up-conversion Phosphors	The 2nd International Workshop on Persistent & Photostimulable Phosphors	2013	11	Guangzhou (China)
Watari, T. Torikai, T. Yada, M.	CaTiO ₃ :Pr Phosphor Prepared by Solution Process	The 2nd International Symposium on Inorganic and Environmental Materials	2013	10	Rennes (France)

著者	題名	会議名	年	月	場所
Tomiyasu, H. Yamato, T.	Selective synthesis and fluorescence emission properties of 2-arylpyrenes	2nd international symposium on host compounds for separation and functionality in Saga	2013	7	Saga (Japan)
Seto, N. Yamato, T.	Synthesis and Photophysical Properties of Pyrene-Based Y-shaped Blue Light-Emitting Monomers	2nd international symposium on host compounds for separation and functionality in Saga	2013	7	Saga (Japan)
Yamato, T. Feng, X. Seto, N.	Blue-Emitting Butterfly-Shaped 1,3,5,9-Tetraarylpyrenes: Synthesis, Crystal Structures and Photophysical Properties	The 15th International Symposium on Novel Aromatic Compounds (ISNA15)	2013	7	Taipei (Taiwan)
Tomiyasu, H. Yamato, T.	Synthesis and Fluorescence Emission Properties of 2-Pyrenyl-substituted Pyrenes	The 15th International Symposium on Novel Aromatic Compounds (ISNA15)	2013	7	Taipei (Taiwan)
Ikejiri, Y. Jian, X. Yamato, T.	Regio- and conformational selective synthesis of O-alkylated hexahomotrioxacalix[3]arenes	The 8th Joint Seminar between Saga University and Daegu University	2013	11	Daegu (Korea)
Seto, N. Feng, X. Yamato, T.	Synthesis and Photophysical Properties of Pyrene-Based Y-shaped Blue Light-Emitting Monomers	The 8th Joint Seminar between Saga University and Daegu University	2013	11	Daegu (Korea)
Cong, H. Xiang, D.D. Tao, Z. Yamato, T.	Host-guest Interactions of Hemicucurbiturils with Phenazine	Third International Conference on Cucurbiturils	2013	11	Canberra (Australia)
Tomiyasu, H. Yamato, T.	Synthesis and Fluorescence Emission Properties of Pyrene-based Extended π -conjugated Giant Molecules	The 74h Saga University – Liaoning University	2014	3	Saga (Japan)
Jin, C.C. Yamato, T.	A Ratiometric Fluorescent Molecular Switch for Cu ²⁺ Based on Hexahomotrioxacalix[3]arene Armed with Pyrene Moieties	The 74h Saga University – Liaoning University	2014	3	Saga (Japan)

国内学会発表

著者	題名	会議名	年	月	場所
藤澤彰利 谷口行伸 留川脩平 三浦真一 光武雄一 門出政則	水素吸蔵合金を用いた水素精製の実験およびシミュレーションによる検討	化学工学会第 45 回秋季大会	2013	9	岡山
永田修一	波力発電とは(招待講演)	第 7 回海洋教育フォーラム	2014	3	宮城
永田修一 今井康貴 瀬戸口俊明 末吉 紘太	浮体式振動水柱型波力発電装置“後ろ曲げダクトブイ”の一次変換に関する 2 次元周波数領域計算	第 18 回計算工学講演会	2013	6	東京
高尾紘一 山本大将 橋本時忠 松尾繁 瀬戸口俊明 阿部淳	衝撃波駆動によるジェット・インジェクターに関する基礎研究	平成 25 年度衝撃波シンポジウム	2014	3	神奈川
橋本時忠 園田浩太郎 田上大幹 小川祐司 武田さつき 松尾繁 瀬戸口俊明	膨張波集束精度の向上と集束領域の観察	平成 25 年度衝撃波シンポジウム	2014	3	神奈川
高尾学 奥原真哉 高見昭康 瀬戸口俊明	波力発電用ツイン衝動型タービン(流体ダイオードによる性能改善)	日本機械学会中国四国支部第 52 期総会・講演会	2014	3	鳥取
足立和也 早水庸隆 高尾学 瀬戸口俊明 森田慎一 大塚茂	波力発電用直線翼垂直軸タービンに関する実験的研究(性能に及ぼす案内羽根の影響)	日本機械学会中国四国支部第 52 期総会・講演会	2014	3	鳥取
高尾学 高見昭康 周藤祥平 瀬戸口俊明	ブースターを有ウエズルタービン(性能に及ぼす回転数比の改善)	日本機械学会中国四国支部第 52 期総会・講演会	2014	3	鳥取
高尾学 高見昭康 野坂太平 瀬戸口俊明	ブースターを有ウエズルタービン(性能に及ぼす案内羽根の影響)	日本機械学会中国四国支部第 52 期総会・講演会	2014	3	鳥取
田中大幹 武田さつき 小川祐司 園田浩太郎 橋本時忠 松尾繁 瀬戸口俊明	収束膨張波照射による疑似軟組織への効果	日本機械学会九州支部第 67 期総会・講演会	2014	3	福岡

著者	題名	会議名	年	月	場所
野原直樹 檜枝健介 浦川和馬 橋本時忠 松尾繁 瀬戸口俊明	無針注射器を用いた粉体粒子噴射に関する基礎研究	日本機械学会九州支部第 67 期総会・講演会	2014	3	福岡
牟田口瑤平 笠原隆広 江頭宏俊 橋本時忠 松尾繁 瀬戸口俊明	反射板と音響レンズを用いた超音波洗浄法	日本機械学会九州支部第 67 期総会・講演会	2014	3	福岡
高尾学 奥原真哉 高見昭康 瀬戸口俊明	波力発電用ツイン衝動型タービン(起動特性に及ぼす流体ダイオードの効果)	日本機械学会九州支部第 67 期総会・講演会	2014	3	福岡
高尾学 高見昭康 松野雄飛 瀬戸口俊明	ブースターを有するウエルズタービン(性能に及ぼすブースター形状の影響)	日本機械学会九州支部第 67 期総会・講演会	2014	3	福岡
井口惇 柳品 塩見憲正 木上洋一 瀬戸口俊明	半開放型軸流ファンの入口流れ場	日本機械学会九州支部第 67 期総会・講演会	2014	3	福岡
横尾和幸 松尾繁 松野雄飛 瀬戸口俊明 Kim, H.D.	ボルテックスチャンバー内の流動特性に関する研究	日本機械学会九州支部第 67 期総会・講演会	2014	3	福岡
高尾学 奥原真哉 野坂太平 瀬戸口俊明	波力発電用ウエルズタービンに関する研究(三次元形状翼による性能改善)	日本機械学会第 91 期流体力学講演会	2013	11	福岡
奥原真哉 高尾学 高見昭康 瀬戸口俊明	波力発電用ウエルズタービンに関する研究(ブースタータービンによる性能改善)	日本機械学会第 91 期流体力学講演会	2013	11	福岡
足立和也 早水庸隆 高尾学 瀬戸口俊明 奥原真哉 森田慎 大塚茂	波力発電用直線翼垂直軸タービンに関する実験的研究(タービン性能に及ぼすロータ翼形の影響)	日本機械学会第 91 期流体力学講演会	2013	11	福岡
鈴木正己 永田修一 瀬戸口俊明	振動水柱型波力発電装置の空気室特性	日本機械学会第 91 期流体力学講演会	2013	11	福岡
高尾紘一 橋本時忠 松尾繁 瀬戸口俊明	高速微小水ジェット発生法に関する基礎研究	日本機械学会第 91 期流体力学講演会	2013	11	福岡

著者	題名	会議名	年	月	場所
岡佑亮 塩見憲正 木上洋一 瀬戸口俊明	半径報告吐出斜流ファンの内部流動に関する研究(翼先端もれ渦と正圧面はく離)	日本機械学会第91期流体力学講演会	2013	11	福岡
中道祥吾 木上洋一 塩見憲正 瀬戸口俊明	減速流れにおけるNACA65翼まわりのコーナーはく離に関する研究(端壁面はく離がない場合に見られる渦)	日本機械学会第91期流体力学講演会	2013	11	福岡
西山友士郎 松尾繁 長尾淳司 瀬戸口俊明	非平衡凝縮を伴う超音速旋回流に関する研究	日本機械学会第91期流体力学講演会	2013	11	福岡
塩見憲正 木上洋一 柳品 瀬戸口俊明 金英子	半開放型プロペラファンの入り口三次元流れ場(入口幾何形状の影響)	ターボ機械協会第70回信州講演会	2013	9	東京
長尾淳司 松尾繁 瀬戸口俊明	臨界ノズルによる実在気体の質量流量計測	ターボ機械協会第70回信州講演会	2013	9	東京
奥原真哉 高尾学 高見昭康 瀬戸口俊明	波力発電用ウエルズタービンに関する研究(ブースタータービンによる起動特性の改善)	ターボ機械協会第70回信州講演会	2013	9	東京
早水康隆 高尾学 瀬戸口俊明 奥原真哉 森田慎一 大塚茂	波力発電用直線翼垂直軸タービン	ターボ機械協会第70回信州講演会	2013	9	東京
木上洋一 鶴若菜 塩見憲正 瀬戸口俊明	二酸化炭素高速気液二相ノズル流れに関する研究(減圧特性が良好な場合と上昇する場合)	日本混相流学会混相流シンポジウム2013	2013	8	長野
岡佑亮 塩見憲正 木上洋一 瀬戸口俊明	低比速度斜流送風機の内部流動(実験および数値解析)	ターボ機械協会第69回総会講演会	2013	5	東京
塩見憲正 木上洋一 柳品 瀬戸口俊明 金英子	半開放型プロペラファンの入り口三次元流れ場	ターボ機械協会第69回総会講演会	2013	5	東京
池上康之 實原定幸	海の持つエネルギーを電気に変える仕組み(温度差発電)	第8回海洋教育フォーラム	2014	3	神奈川
池上康之	海洋再生可能エネルギーと水産業による地域活性化への期待と展望	第6回東京海洋大学 水産海洋プラットフォーム・フォーラム	2014	3	東京
池上康之	海の持つエネルギーを電気に変える仕組み(温度差発電)	第6回海洋教育フォーラム	2014	2	広島

著者	題名	会議名	年	月	場所
池上康之	海洋温度差発電の現状と今後の展望－再生可能エネルギーにおける安定的電源の役割を目指して－	海洋産業研究会 「海洋自然エネルギー利用技術の実用化プロジェクト」	2014	2	東京
池上康之	世界のリーダーを目指す我が国の海洋再生可能エネルギーの挑戦	日本経済新聞社 「エコプロダクツ 2013」	2013	12	東京
池上康之	実証試験を始めた海洋温度差発電の現状と課題および海外の動向－再生可能エネルギーにおける安定的電源の役割を目指して－	大阪科学技術センター 地球環境技術推進懇談会循環・代謝型社会システム研究会	2013	12	佐賀
池上康之	実証試験を始めた海洋温度差発電の新しい展開および海外の最新動向－再生可能エネルギーにおける安定的電源の役割を目指して－	日本海事協会「海洋再生可能エネルギーセミナー」	2013	12	東京
池上康之	海の持つエネルギーを電気に変える仕組み(海洋温度差発電の原理)	第 5 回海洋教育フォーラム	2013	11	兵庫
池上康之	海洋資源利活用の現状～久米島で培われた海洋深層水利用の世界的実績と今後の展望～	しまのゆんたく in 久米島～【耕海興国～海洋資源立国のフロンランナー・久米島を目指して～】	2013	11	沖縄
池上康之	系統連系を始めた海洋温度差発電の新しい展開および海外の最新動向－再生可能エネルギーにおける安定的電源の役割を目指して－	海洋再生可能エネルギーセミナー	2013	11	東京
池上康之	海洋温度差発電に学ぶ～佐賀が育んでくれた持続可能な環境技術～	高木瀬さが学講座～未来へつながるさと佐賀の誇り～	2013	9	佐賀
池上康之	海洋エネルギーの産業化に向けた課題及び今後の可能性 ～アジアの中核的海洋産業戦略地域を目指して～	第 10 回九州地域戦略会議夏季セミナー	2013	8	宮崎
池上康之	沖縄/久米島における海洋温度差発電の全容と世界から見た久米島	海洋温度差発電(OTEC)実証施設完成記念講演会	2013	6	沖縄
Ikegami, Y.	New stage of OTEC with Netherlands and Japan – for Stable Energy & Sustainable Water Resource –	Off shore Energy, Sharing Expertise from the Netherlands – Seminar and Technology Match Make Event –	2013	6	神奈川
池上康之	沖縄県久米島から始まる海洋温度差発電／海洋深層水利用の新しいステージ ～沖縄県「海洋深層水の利用高度化に向けた発電利用実証事業」の現状報告～	海洋深層水利用学会 2013 年度定期総会講演会	2013	5	東京
池上康之 有馬博史 川畑佑介 森崎敬史 岡本明夫 逸見義男	表面微細加工を施したプレート式蒸発器による伝熱促進効果に関する研究	第 47 回空気調和・冷凍連合講演会	2013	4	東京
池上康之 森崎敬史	多段逆ランキンサイクルを用いたヒートポンプおよび冷凍サイクルに関する研究	第 47 回空気調和・冷凍連合講演会	2013	4	東京

著者	題名	会議名	年	月	場所
吉武拓磨 森崎敬史 松田吉隆 杉剛直 後藤聡 池上康之	ウエハラサイクルを用いた海洋温度差発電プラントの実験データに基づく静的モデル構成	第57回システム制御情報学会研究発表講演会	2013	5	兵庫
川畑佑介 岡本明夫 逸見義男 有馬博史 池上康之	表面微細加工を施したプレート式蒸発器を用いた HFC 系フロン媒体の伝熱促進効果に関する研究	第18回動力・エネルギー技術シンポジウム	2013	6	千葉
池上康之 森崎敬史	多段ランキンサイクルを用いた低熱源温度差発電の評価方法に関する研究	第18回動力・エネルギー技術シンポジウム	2013	6	千葉
池上康之 森崎敬史	多段ランキンサイクルを用いた低熱源温度差発電の最大出力に関する研究	日本機械学会 熱工学コンファレンス 2013	2013	10	青森
佐藤樹 森崎敬史 松田吉隆 杉剛直 後藤聡 池上康之	海洋温度差発電実験プラントにおける温熱源制御シミュレーションモデルの構築	第32回計測自動制御学会九州支部学術講演会	2013	11	長崎
吉武拓磨 森崎敬史 松田吉隆 杉剛直 後藤聡 池上康之	ウエハラサイクルを用いた海洋温度差発電プラントの重み付き最小二乗法を用いた静的モデルの構成	第56回自動制御連合講演会	2013	11	新潟
吉武拓磨 佐藤樹 松田吉隆 杉剛直 後藤聡 森崎敬史 池上康之	ウエハラサイクルを用いた海洋温度差発電プラントの飽和非線形性を考慮した気液分離器液位制御	第32回計測自動制御学会九州支部学術講演会	2013	11	長崎
大窪慈生 永田修一 今井康貴 新里英幸	自由表面をもつ流体と物体の干渉問題への渦法の適用	第24回海洋工学シンポジウム	2014	3	東京
有馬博史 小山幸平	ブレイジング式熱交換器におけるアンモニアの沸騰熱伝達特性	日本機械学会 熱工学コンファレンス 2013	2013	10	青森
小山幸平 千代田紘享 有馬博史 池上康之	プレート式蒸発器のアンモニア沸騰熱伝達に与える流路高さの影響	第50回日本伝熱シンポジウム	2013	5	宮城
小山幸平 千代田紘享 有馬博史 岡本明夫 池上康之	伝熱面表面に微細な凹凸を有するプレート式蒸発器のアンモニア流動沸騰	日本機械学会九州支部鹿児島講演会	2013	9	鹿児島
中村友哉 小山幸平 有馬博史 荒巻森一朗	プレート式蒸発器内部の沸騰様相の可視化に関する研究	日本機械学会九州学生会第45回卒業研究発表講演会	2014	3	福岡

著者	題名	会議名	年	月	場所
今井康貴 永田修一 村上天元 末吉紘太	浮体型波力発電装置「後ろ曲げダクトパイ」の一次変換効率への入射波方向影響に関する研究	日本船舶海洋工学会 平成 25 年秋季講演会	2013	11	大阪
永田修一 今井康貴 村上天元 辻本光淳	浮体型振り子式波力発電装置の高出力化に関する研究	日本船舶海洋工学会 平成 25 年秋季講演会	2013	11	大阪
Koirala, P. Nagata, S. Imai, Y. Murakami, T. Setoguchi, T.	Numerical Study on Multi-chamber Fixed-type Oscillating Water Columns	第 24 回海洋工学シンポジウム	2014	3	東京
村上天元 今井康貴 永田修一 辻本光淳	浮体型振り子式波力発電装置の負荷特性に関する研究	第 24 回海洋工学シンポジウム	2014	3	東京
Hang, C. 大和 武彦	超分子触媒(ヘミククルビット[6]ウリル)を用いるヘテロ環化合物の酸化反応	第10回ホスト・ゲスト化学シンポジウム	2013	5	和歌山
富安弘嗣 大和武彦	2-アリアルピレン類の選択的合成と発光特性	第 50 回化学関連支部合同九州大会	2013	7	福岡
Islam, Md.M. Yamato, T.	Synthesis and conformational studies of novel chiral homocalix[3]arenes	第 50 回化学関連支部合同九州大会	2013	7	福岡
Jin, C. Yamato, T.	Synthesis and inclusion behaviors heteroditopic receptors based on hexahomotrioxacalix[3]arenes	第 50 回化学関連支部合同九州大会	2013	7	福岡
瀬戸伸之 大和武彦	ピレンを基体とする新規 Y-型青色発光有機物質の合成と光特性	第 50 回化学関連支部合同九州大会	2013	7	福岡
Jiang, X. Yamato, T.	Regio- and conformational selective synthesis of O-alkylated hexahomotrioxacalix[3]arenes	第 50 回化学関連支部合同九州大会	2013	7	福岡
Kowser, Z. Yamato, T.	Synthesis and evaluation of novel fluorescent sensors based pyrenes	第 50 回化学関連支部合同九州大会	2013	7	福岡
Cong, H. Yamato, T.	Supramolecular catalysis of oxidation of heterocyclic compounds by hemicucubit[6]urils under mild conditions	第 50 回化学関連支部合同九州大会	2013	7	福岡
Xing, F. 瀬戸伸之 大和武彦	ピレンを基体とする拡張 π 共役系巨大分子の合成と発光特性	第 24 回基礎有機化学討論会	2013	9	東京
都貞喜 Kowser, Z. 大和武彦	ジチエノチオフェンを基体とする新規拡張 π -共役発光体の合成と光物性	第 43 回複素環化学討論会	2013	10	岐阜
富安弘嗣 馮星 瀬戸伸之 大和武彦	ピレンを基体とする拡張 π 共役系巨大分子の合成と発光特性	第7回 有機 π 電子系シンポジウム	2013	12	群馬
富安弘嗣 大和武彦	ピレンを基体とする拡張 π 共役系巨大分子の合成と発光特性	日本化学会第 94 回春季年会	2014	3	愛知
池尻悠亮 江学凱 大和武彦	ヘキサホモトリオキサリックス[3]アレーン類の位置選択的置換基導入反応	日本化学会第 94 回春季年会	2014	3	愛知

著者	題名	会議名	年	月	場所
瀬戸伸之 大和武彦	ピレンを基体とした[n]ヘリセンの合成と構造 および発光特性	日本化学会第 95 回春季年会	2014	3	愛知
森野勇 内野修 酒井哲 永井智宏 新井康平 他 12 名	ライダーによる下部対流圏オゾン観測と化学 気候モデルとの比較	日本気象学会春季大会	2013	5	東京
後藤和彦 杉剛直 松田吉隆 後藤聡 福田裕樹 後藤純信 山崎貴男 飛松省三	色組み合わせ刺激に対する視覚誘発電位の 一次野チャネル	生体医工学シンポジウム 2013	2013	9	福岡
Komorita, T. Matsuda, Y. Sugi, T. Goto, S.	Design of PD-type Anti-windup Compensator for Control Systems with Magnitude and Rate Saturation	第 32 回計測自動制御学会九 州支部学術講演会	2013	11	長崎
浦吉大輝 森崎敬史 松田吉隆 杉剛直 後藤聡 池上康之	ウエハラサイクルを用いた海洋温度差発電プ ラントの温海水流量の調節	第 32 回 SICE 九州支部学術講 演会・第 11 回学生発表交流会	2013	11	長崎
多久島研二 松田吉隆 杉剛直 後藤聡 江頭成人	ビジュアルサーボを用いた遠隔操作システム における画像処理の改良	第 32 回計測自動制御学会九 州支部学術講演会	2013	11	長崎
後藤和彦 杉剛直 松田吉隆 後藤聡 福田裕樹 後藤純信 山崎貴男 飛松省三	単色色組み合わせ刺激を用いた視覚誘発電 位の特徴解析: 一次視覚野の拮抗作用と促 通作用の評価	第 43 回日本臨床神経生理学 会学術大会	2013	11	高知
Matsuda, Y. Komorita, T. Goto, S. Sugi, T.	Experimental Evaluation of PD-type Anti-windup Compensator Design for a Water Level Control System with Flow Rate Limitation	第 56 回自動制御連合講演会	2013	11	新潟
矢野稔 松田吉隆 杉剛直 後藤聡	眼電図・筋電図を用いた移動型ロボットの操 作	第 32 回 SICE 九州支部学術講 演会・第 11 回学生発表交流会	2013	11	長崎
原安利樹 松田吉隆 杉剛直 後藤聡 江頭成人	ランキンサイクルを用いた海洋温度差発電シ ミュレータの Web アプリケーション開発	第 14 回計測自動制御学会シ ステムインテグレーション部門 講演会	2013	12	兵庫

著者	題名	会議名	年	月	場所
後藤和彦 杉剛直 松田吉隆 後藤聡 福田裕樹 後藤純信 山崎貴男 飛松省三	脳波モデルを用いた視覚誘発電位の振幅推定と特徴解析	ME とバイオサイバネティクス研究会	2014	1	佐賀
齋藤優介 杉剛直 松田吉隆 後藤聡 白川修一郎	短時間仮眠時の睡眠ポリグラフ記録を用いた睡眠覚醒状態変化の評価	平成 26 年度日本生体医工学会九州支部学術講演会	2014	3	福岡
浦吉大輝 森崎敬史 松田吉隆 杉剛直 後藤聡 池上康之	ウエハラサイクルを用いた海洋温度差発電プラントの海水温度の変動を考慮した海水流量の調節	第 1 回計測自動制御学会制御部門マルチシンポジウム(第 5 回プラントモデリングシンポジウム)	2014	3	東京
末吉佑太郎 後藤和彦 杉剛直 松田吉隆 後藤聡 福田裕樹 後藤純信 山崎貴男 飛松省三	赤外線カメラを用いた視覚誘発電位記録時における視線変化の抽出	平成 26 年度日本生体医工学会九州支部学術講演会	2014	3	福岡
飛永賢人 後藤和彦 杉剛直 松田吉隆 後藤聡 福田裕樹 後藤純信 山崎貴男 飛松省三	閃光刺激時における背景脳波活動の脳波モデルによる解析	平成 26 年度日本生体医工学会九州支部学術講演会	2014	3	福岡
北島千裕 杉剛直 松田吉隆 後藤聡 野平晴彦 久保田有	ICU モニタリングにおける単チャンネル脳波からの特徴波形抽出	平成 26 年度日本生体医工学会九州支部学術講演会	2014	3	福岡

資料・解説・論説・研究報告等

著者	題名	雑誌名	Vol.	No.	ページ	年	月
井上利明 門出政則	水およびアンモニア/水混合媒体の沸騰熱伝達の経年変化に及ぼす界面活性剤の影響	佐賀大学 海洋エネルギー研究センター報告「OTEC」	18		1-4	2013	9
門出政則	佐賀大学での水素貯蔵及び利用に関する研究	燃料電池	13	1	65-71	2013	7
門出政則	「抜山記念国際賞」の経緯と授賞報告	伝熱	52	219	1-3	2013	4
永田修一	振動水柱型波力発電装置の開発動向(特集 海洋エネルギーにおけるターボ機械の技術動向)	ターボ機械	41	9	526-532	2013	9
永田修一	研究の現場から 波力発電システム	応用物理	82	11	969-972	2013	11
永田修一	連載講座 エネルギー資源の動向 第6回 I. 波力発電	電気評論	98	5	47-51	2013	5
韓建榮 有田護 池上康之 李義頡	低温度差熱エネルギーを用いた超小型バイナリー発電プラントのモデリングと非干渉化 PID 制御系の設計	佐賀大学 海洋エネルギー研究センター報告「OTEC」	18		5-16	2013	9
池上康之	OTEC レポート 沖縄・久米島から始まった海洋温度差発電の新しいステージ	OTEC Newsletter	7	1	3-6	2014	3
池上康之	海洋温度差発電の新しいステージと課題:—再生可能エネルギーのベース電源を目指して—	海洋理工学会誌	19	1	49-55	2013	8
池上康之	新しいステージに向かう海洋温度差発電の現状と展望: 再生可能エネルギーのベース電源を目指して(特集 洋上風力に続けるか! 海洋エネルギーの可能性)	Business i. ENECO = ビジネスアイエネコ: エネルギーと地球環境の明日を考える経済専門誌	46	8	26-31	2013	8
Bian, Y. Arima, H. Li, C. Ikegami, Y.	Flow Characteristics in the Grooved Channel for Pulsatile Flow	佐賀大学 海洋エネルギー研究センター報告「OTEC」	18		17-22	2013	9
有馬博史 敬成君 小山幸平	3 重円筒型アンモニア蒸発器に関する研究	佐賀大学 海洋エネルギー研究センター報告「OTEC」	18		23-30	2013	9
小山幸平 千代田紘享 有馬博史 岡本明夫 池上康之	伝熱面に微細な凹凸を有するプレート式蒸発器のアンモニア流動沸騰熱伝達に関する研究	佐賀大学 海洋エネルギー研究センター報告「OTEC」	18		31-36	2013	9
川畑佑介 岡本明夫 逸見義男 有馬博史 池上康之	表面微細加工を施したプレート式蒸発器による伝熱促進効果に関する研究	佐賀大学 海洋エネルギー研究センター報告「OTEC」	18		37-44	2013	9
羽田野袈裟義 大木協 Koirala, P. 種浦圭輔 大西季秋	沿い波利用型波力発電用遊水室内の水面動揺に関する研究	佐賀大学 海洋エネルギー研究センター報告「OTEC」	18		53-58	2013	9

著者	題名	雑誌名	Vol.	No.	ページ	年	月
今井康貴 永田修一 豊田和隆 村上天元 瀬戸口俊明	規則波中における浮体型振子発電装置のエネルギー変換性能に関する研究	佐賀大学 海洋エネルギー研究センター報告「OTEC」	18		69-76	2013	9
松下政裕 門出政則 光武雄一	水素吸蔵合金の充填状態の計算(離散要素法による接触距離変更モデル)	佐賀大学 海洋エネルギー研究センター報告「OTEC」	18		77-82	2013	9
Jayakody, L.N. Hayashi, N. Kitagaki, H.	Molecular mechanisms for detoxification of major aldehyde inhibitors for production of bioethanol by <i>Saccharomyces cerevisiae</i> from hot-compressed water-treated lignocellulose	Materials and Processes for Energy: communicating current research and technological developments, A. Mendez-Vilas (Ed.)			302 - 311	2013	12

新聞

掲載年月日	タイトル	掲載紙
2013/4/3	海洋温度差発電を実験/沖縄県 久米島で深層水利用	日本経済新聞
2013/4/6	海洋エネルギー実証実験/加部島北西海域に誘致へ 県中間報告	西日本新聞
2013/4/11	海洋発電 呼子沖を実験場に/国の公募に県本腰	朝日新聞
2013/4/14	佐大協力の海洋温度差発電/実証試験あす始動 沖縄・久米島 2年間連続運転	佐賀新聞
2013/4/23	モノづくり日本会議/第5回「新エネルギー促進検討会『海洋エネルギー』」	日刊工業新聞
2013/6/3	九州リポート/九州西部で海洋エネ実証フィールドの誘致合戦	日刊工業新聞
2013/6/13	熱交換器向けチタン板/神鋼が開発/伝熱性2割向上/海洋温度差発電、実用化後押し	鉄鋼新聞
2013/6/13	神戸製鋼/プレート式熱交向けチタン板/海洋温度差発電に採用/熱伝達20%以上向上	日刊産業新聞
2013/6/17	海洋温度差発電 実証へ/久米島の試験施設 県が通電式	沖縄タイムス
2013/6/17	海洋温度差発電プラントを試験/沖縄・久米島	佐賀新聞
2013/6/17	海洋温度差で発電/沖縄県 実証プラント	日本経済新聞
2013/6/18	海洋温度差発電に期待/プラント完成 久米島シンポ 深層水再利用も/専門家ら提言	沖縄タイムス
2013/6/21	創エネ関連市場 20年に3.4倍予測/富士経済	日本経済新聞
2013/6/21	温度差発電に「世界が注目」/久米島で記念講演会	琉球新報 朝刊
2013/6/25	ハワイで10000キロワットプラント/海洋温度差発電で計画	日本経済新聞
2013/7/11	海の時代 海洋温度差発電 上/世界初の系統連系を実現	電気新聞
2013/7/11	海洋温度差発電[海の時代]〈上〉日本勢の巻き返し	電気新聞
2013/7/12	無尽蔵のクリーンエネルギー/海洋発電の研究が本格化	毎日新聞
2013/7/12	海の時代 海洋温度差発電 下/独自の技術・モデルに期待	電気新聞
2013/7/21	日本の研究は世界の先頭を走る/海洋温度差発電に脚光	日本経済新聞
2013/9/6	JMU 佐賀大 浮体式海洋温度差発電 /海事協から概念承認	電気新聞
2013/9/6	ジャパン・マリン・ユナイテッド 海洋温度差発電 海事協会から承認取得 神戸製のチタン使用	鉄鋼新聞
2013/9/6	JMU 没水型海洋温度差発電 NK概念承認を取得	日本海事新聞

掲載年月日	タイトル	掲載紙
2013/9/6	没水型の海洋温度差発電 AIP世界発取得	産業新聞
2013/10/31	北九州学研都市産学連携事例④ 北九州市立大学など【リチウム回収】世界市場の10%確保目指す	日刊工業新聞
2013/11/12	全国理系学び舎紀行 海洋エネの総合拠点へ/温度差発電の基礎築く	電気新聞
2014/2/21	佐賀大学とマレーシア工科大 海洋温度差発電で協定 研究開発、人材育成で連携	佐賀新聞
2014/2/25	マレーシア工科大と連携 海洋エネ研究で佐賀大	日刊工業新聞
2014/3/12	佐賀大マレーシア工科大 海洋エネ教育・研究協力で協定	日本海事新聞
2014/3/16	海洋エネ「実験海域」に県が名乗り 7 県11カ所で誘致合戦 地元の協力体制をアピール	佐賀新聞
2014/3/16	佐賀大マレーシア工科大 海洋エネ教育・研究協力で協定	日本海事新聞
2014/3/16	佐賀大マレーシア工科大 海洋エネ教育・研究協力で協定	日本海事新聞

テレビ

放映年月日	タイトル	テレビ局
2013/4/12	久米島OTEC紹介/STS スーパーニュース 実証実験スタート 1	佐賀テレビ
2013/6/17	海洋温度差発電通電式/STS スーパーニュース	佐賀テレビ
2013/7/2	久米島OTEC紹介/STS スーパーニュース 実証実験スタート 2	佐賀テレビ
2013/7/4	久米島海洋温度差発電/NEWS LINE	NHK WORLD
2013/7/5	海洋温度差発電の世界唯一の実証プラントが沖縄・久米島で始動/元気出せ!ニッポン	BS11
2013/7/7	原発 25 基分”！日本の海のエネルギーで電気を生み出す海水の“温度差”で、半永久的に発電～島国が宝の島に！/夢の扉	TBS
2013/12/22-2013/12/27	海からエネルギーを取り出した男たち～佐賀大学海洋温度差発電/ドキュメント九州	サガテレビ（21 日）、テレビ西日本（22 日）、テレビ長崎（27 日）、テレビ熊本（27 日）、テレビ大分（25 日）、テレビ宮崎（22 日）、テレビ鹿児島（22 日）、テレビ沖縄（27 日）
2014/2/20	マレーシア工科大との協定調印式/STS スーパーニュース	佐賀テレビ

